

平成 24 年度 訪問入浴サービス部門 事業報告

重点目標別報告

- ① 利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理、生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
 - ・ 定期的な入浴により体調の変化や皮膚状態の観察をすることで本人や家族またサービスを提供する関係者に状態の変化を報告できた。
 - ・ 月に 1 回、ケアマネージャーへモニタリングを配布。
 - ② 利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
 - ・ 利用者また家族が希望する入浴の時間に出来る限りの対応を行った。
 - ・ 利用者に合わせた入浴方法（浴槽までの歩行、ご自身での洗顔・洗体等）を提供できた。
 - ・ 季節毎にイベントを行うことで利用者さんに季節感を味わってもらうことができ、ご家族のなかには積極的に参加して下さるなど利用者、ご家族ともに楽しんで頂く入浴を提供できた。
 - ③ 利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
 - ・ 定期的な入浴により清潔の保持をし、気分転換を図ることで利用者が過ごしやすくなるとともに、家族の介護の負担を軽減することができた。
 - ・ 定期的に訪問することで入浴はもちろんスタッフとの会話を楽しみにされてあると同時に、本人や家族の不安や不満を聞くことにより、精神的負担の軽減ができた。
 - ④ 訪問入浴車 2 台を以下のように使い、月間延べ訪問件数 1 7 0 件を目安とし、1 日平均、5 人／台程度の利用となるよう努める。
 - 入浴車 1 台目：月～金 週 5 日稼動
 - 入浴車 2 台目：月・木・金 週 3 日稼動
- ※別紙参照
- ⑤ ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
 - ・ 介護予防の依頼はなし。
 - ・ 身体障害者の依頼はなし。
 - ・ ターミナルの依頼は 3 3 件。
 - ⑥ 社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。
 - ・ 実習 2 日間を通して、訪問入浴サービスはもちろん在宅での介護の現状を知ってもらうことができた。また、デイと訪問入浴それぞれのサービスに関わってもらうことで、双方のサービスの違い、必要性を学んで頂いた。